

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/07/19

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.10	-0.52
JPY/THB	0.2456	-0.0040
USD/JPY	138.83	0.12
EUR/THB	38.28	-0.61
EUR/USD	1.1229	-0.0007
USD/CNH	7.193	0.015
SGD/THB	25.77	-0.40
AUD/THB	23.22	-0.37
USD/INR	82.03	-0.02
USD Index	99.94	0.10

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.338	-0.006
10Y (THB)	2.554	-0.018
5Y (USD)	4.007	-0.012
10Y (USD)	3.785	-0.022

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,980.8	24.4
WTI (Oil)	75.75	1.6
Copper	8,473.0	-18.0

Stock

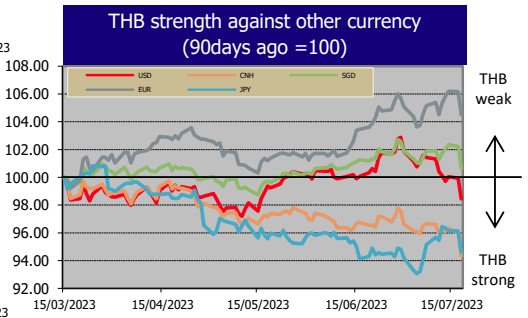
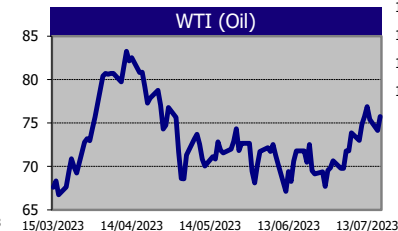
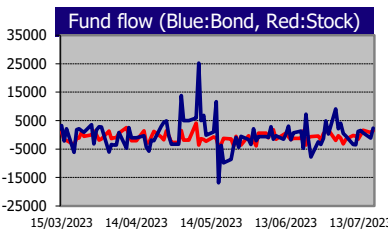
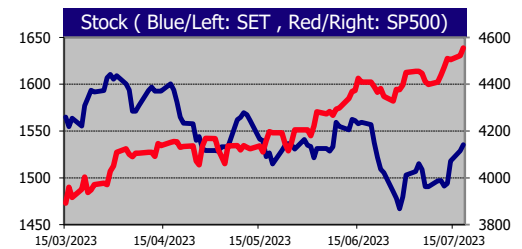
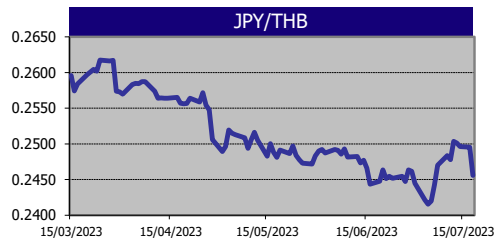
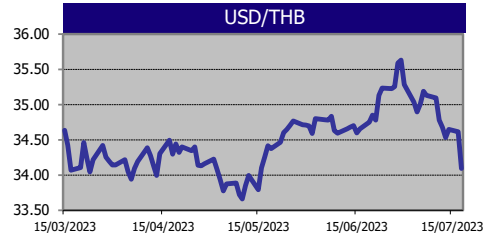
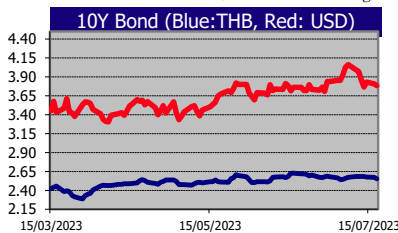
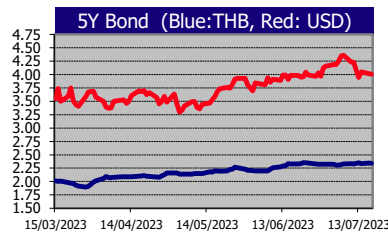
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,535.30	6.53
NIKKEI (JP)	32,493.89	102.63
DOW (US)	34,951.93	366.58
S&P500 (US)	4,554.98	32.19
SHCOMP (CN)	3,197.82	-11.81
DAX(GER)	16,125.49	56.84

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,464	661.5
Bond net flow	2,348	3521.0

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは下落。34パーツ台半ば付近で取引を開始。翌日に2回目のタイ首相指名投票が予定されていることもあり、積極的な取引が控えられ、流動性が乏しい状況下、パーツ買いのフローが入ったか序盤からドルパーツは下落。足もとのサポート水準となっていた34.50付近を早々に割り込むと勢いは加速。バンコク時間を通して下落基調での推移となった。海外時間に入っても流れは継続。発表された米国指標は強弱入り混じる結果となり、パーツの勢いを止めるには至らず、一時34パーツを割り込み、33パーツ台後半を付ける場面を見せた。ただ、同水準でパーツの勢いも一服。終盤にかけては34パーツ台前半まで小幅に値を戻し、結局34.10レベルで引けた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は小幅に上昇。138円台後半で取引を開始すると、序盤、実需のドル買いから小幅に上昇する場面が見られたものの、その後は米金利が軟調な動きを見せる中、上値重く推移した。海外時間に入り、米6月小売売上高が市場予想を下回ったことが確認されるとドル売りで反応。一時137円台後半を付けた。ただ、飲食店と自動車ディーラー、建材店、ガソリンスタンドを除いたコア売上高は予想を大きく上回っていたことが材料視されると、早々に反発。138円台後半まで値を戻した。その後、植田日銀総裁のYCC修正期待観測を後退させる発言が伝わり、円売りが強まると一時139円台前半まで上値を伸ばす場面が見られるも、終盤にかけてはやや値を戻し、138.83レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

ドルパーツは5月半ば以来となる33パーツ台まで下落しています。5月から6月末にかけて人民元の動きに連動するようにパーツ安が進行し35.50越えまで上伸びしましたが、7月に入り反転し約半月という短時間で上昇分を戻した形となりました。タイ国内の政治的な要因をパーツ高材料とするにはまだ早い段階ですので、ドル金利低下およびそこからドル売りが全体的に広がっていることが足許のドル安(パーツ高)要因と捉えるのが自然と考えます。今週はFOMC前のブラックアウト期間に入っているため金融政策に関するヒントが出ない状況かつ様子見の市場参加者が増える状況、タイでは本日2度目の首相指名選挙が実施されるため不透明な状況は継続しており、急速なドル安の後の若干の反発を想定したいところです。(塩谷)